

vol.

113

2023

9/22 発行



いちのへ社協だより

ゆいっこ



CONTENTS

いちボラ+（プラス）紹介	2～3	社協からのお知らせ	7
できごとフラッシュ	4～5	Topics	8
赤い羽根共同募金スタート	6		

題号「ゆいっこ」は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。

New open

いちボラ+ ボランティア活動拠点

いちボラ+ プラス

2年前に閉園した旧一戸幼稚園に、今年7月29日、一戸町社会福祉協議会は一戸町ボランティア活動拠点「いちボラ+ (プラス)」をオープンしました。
人と人が手と手を取り合って、この町での暮らしがちょっとプラスになりますように。



7月29日
オープニング
イベント開催



会場となった旧一戸幼稚園

「いちボラ+」のオープンを記念して、7月29日、「みんなが楽しい多世代交流フェスティバル」を開催しました。
この場所が、子どもから高齢者まで多世代が集い互いにふれあえる



たくさん子どもたちで賑わう遊びの場



「共生」をテーマにしたパネルディスカッション

ご利用者の様子



一戸町子育てサークル いちはび
宇部 友恵さん

開放的で大人も子どもも安心して過ごせる空間だと感じました。
これからここで色々な活動をしてみたいなとワクワクしています！

いちボラ+が出来たことで、ボランティア後の情報交換や交流がしやすくなり、集まる頻度も増えると思います。これから、いちボラ+をたくさんの方に活用してもらいたいです。



一戸町訪問助け合いボランティアすける's
荒澤 妙子会長

愛称「いちボラ+ (プラス)」に込められた思い

「いちのへボランティア活動+(プラス)」を略して「いちボラ+」としました。
一戸町でのボランティア活動を通して、人とつながってプラスになっていけるようにとの意味を込めて名付けました。みんなが誰かにつながり合える場所になるように願っています。



畠山 美幸さん
(一戸町高善寺)

どんなことに使えるの？

ボランティア活動に

健康づくりや地域の方の居場所づくりなどを目的としたボランティア団体の活動場所、ボランティア同士の交流の場として。



個人での利用も

読書や学習、息抜きにお立ち寄りください。お友達同士誘い合って井戸端会議にも。



地域の集まりごとに

町内会や老人クラブ、サークル・サロン活動など地域の集まりごとの会場として。

いちボラ+ (プラス)



アクセス

岩手県二戸郡一戸町西法寺字稲荷21-18 (旧一戸幼稚園内)

Open 月・水・金曜日 10:00~16:00
Close 火・木・土・日曜日(祝日・年末年始)

- IGRいわて銀河鉄道「一戸駅」から徒歩5分
- お車でお越しの方は、向かい側の町営駐車場をご利用ください。

Instagramもやっています！

問い合わせ先

一戸町社会福祉協議会
TEL 0195-33-3385



地域で子どもを支える仕組みづくり 奥中山流こども食堂 ひなたぼっこ

オレンジカフェさくらの会（柏葉英美代表）は、奥中山高原クラブ（大欠清美会長）らとともに8月11日、奥中山流こども食堂ひなたぼっこを開催しました。

当日は、奥中山地域に住む子どもたちとその親、祖父母、地域住民ら30名以上が集まり、ゲームやレクリエーション、工作、町立図書館による読み聞かせなどを楽しみました。昼食には、町内の企業や農家などから無償で提供された食材を使って、奥中山地区食生活改善推進協議会委員やボランティアらが調理したサラダうどんやサンドウィッチが提供されました。

参加した子どもたちからは、「楽しかった、また来たい」との声が聞かれました。



1 子どもも大人も一緒になって工作などを楽しみました
2 町内の企業や農家などから無償提供された食材たち

障がい福祉への理解と 福祉人材育成を目指して 一戸高校「ふれあい体験学習」

一戸高校の介護・福祉系列の2年生6名は7月11日、社会福祉法人岩手県社会福祉事業団中山の園（山岸公美所長）を会場に行われた「ふれあい体験学習」に参加しました。

この取り組みは、一戸町の福祉的資源である大規模な障がい福祉施設について学び理解を深めることと福祉人材の確保・育成に向け、一戸町社会福祉協議会が企画したものです。

当日は中山の園が実施するサービスについての講義だけでなく、現場見学や特殊浴槽の使用体験など学校の授業だけでは知り得ない知識や経験を得る貴重な機会となりました。



1 特殊浴槽の使用の仕方について説明を受ける生徒たち
2 中山の園山岸公美所長の講義

体験によって理解を深める VR認知症プロジェクト



VRの世界観に入り込む参加者

8月30日、31日の2日間、お達者かあ〜ん（奥中山西田子1448-1）を会場として、「認知症を体験する～VR認知症プロジェクト～」を実施しました。

2日間で子どもを含む19名の方が参加し、VR（バーチャルリアリティー）の技術を駆使して認知症のある方の視点を体験することで、認知症のある方の気持ちを主体的に考える体験会となりました。

いつまでもお元気で 100歳長寿祝贈呈



お祝いの記念品と上平様

一戸町有料老人ホームナーシングあいあいにご入居の上平ミサ様が8月1日に100歳を迎えられました。一戸町と本会よりお祝いの花束や記念品などが贈呈され、町長や職員、関係者と共に長寿を祝いました。多年にわたる町への貢献に敬意を表しながら、いつまでもお元気で過ごされることをお祈りいたします。

きらきら輝く笑顔がまぶしい水遊び みどりの森こども園水遊び



外でどろんこ遊びを楽しむ子どもたち

例年奥中山地区は涼しい夏となりますが、連日の暑さで毎日水遊びをしています。0歳児から5歳児までの子どもたちが、どろんこ遊びや色水ジュースづくり、お花や砂でのケーキ作りの他、プールも楽しみました。夏の遊びを十分に満喫し、子どもたちの目は輝いていました。

大盛り上がりスイカ割りで彩る夏 一戸南学童夏祭り開催



中には浴衣を着ている子どもたちも。素敵な夏の思い出になりました。

一戸南学童クラブ（所長松館聖子）で、8月3日学童夏祭りが行われました。コロナの影響で中止していましたが、久しぶりの開催となり準備から張り切って参加していました。当日は初めてスイカ割りをしたり、縁日が開かれお買い物ごっこをしたりと連日の猛暑を笑顔と歓声で吹き飛ばした一日となりました。



赤い羽根共同募金 スタート

本年も10月1日より、赤い羽根共同募金運動が全国一斉にスタートします。運動期間中は、法人及び大口募金は社協役員または民生委員が、戸別募金は行政連絡員または班長等が、募金のお願いのため皆さまの自宅にお伺いします。一人ひとりの小さなやさしさが、いちのへ全体をやさしくしてくれます。ご家庭で、職場で、学校で、いろんな場所から皆さまのお気持ちを寄せください。あたたかいご協力、ご支援よろしくお願ひします。

令和5年度 目標金額

総額 **3,650,000円**

皆様からお寄せいただく募金は、岩手県共同募金会で集約した後、翌年度に県内の福祉施設や社会福祉協議会へ配分され地域福祉活動に役立てられます。

こんな事業に使われています

ふれあい・いきいきサロン助成事業

住民の孤立防止、心身の健康維持のための地域福祉活動を推進します。



宅配食事サービス事業

高齢者等の見守りとバランスのとれた食の確保で安心安全な暮らしを応援します。



チャイルドシート無料貸与事業

子どもたちの健全育成を目指して子育て世代を応援します。



長寿祝品贈呈事業

高齢者への敬意と長寿を祝い、高齢者福祉の充実を目指します。

ボランティア活動 保険助成事業

地域に根差した福祉活動を担う住民団体を支援し共に支え合う地域づくりを推進します。



一戸町共同募金委員会(一戸町社会福祉協議会内) / 問い合わせ先: TEL 0195-33-3385

社協からののお知らせ

ふれあい・いきいきサロン(食アレボ) 開催のご案内

本会は二戸管内で食物アレルギーの子を持つご家族への支援と交流の場として活動しています。「食物アレルギーや食事制限があってもなくても誰も取り残さない共存の世界にしたい」という想いから立ち上げられた本会は、毎月アレルギーについての情報交換やメンバーの交流会(おしゃべり会)を主とした、アレルギーについて正しく理解してもらい啓発活動を行っています。アレルギーの有無に限らずどなたでもご参加頂けます。良かったら一緒に活動しませんか?ぜひお気軽にお問い合わせ下さい。

日時: 月1回(第3水曜日または土曜日)
場所: 県立一戸病院1階 LET'S GOここプロカフェ
参加費: 無料
問い合わせ先: 食アレボ(代表松田裕美子)
Instagramのダイレクトメッセージまでご連絡ください。

食アレボInstagram



日常生活自立支援事業 (あんしんねっと)のご案内

高齢の方や障がいをお持ちの方で、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理の判断が不十分な方をサポートする事業です。

サービス内容: ・福祉サービスを安心して利用するための援助サービス
・日常的なお金の出し入れをサポートする金銭管理サービス
・大切な書類等を安全に保管する書類等預かりサービス

利用料: 1回1時間あたりおおむね1,300円(相談は無料)
問い合わせ先: 一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385)

表紙の紹介



南学童の夏祭りの様子。スイカ割りに夢中な子どもたちの声が今にも聞こえてきそうです。暑さを吹き飛ばす素敵な夏の思い出となりました。(4p参照)

一戸町訪問助け合いボランティア養成講座のお知らせ

「困ったときはお互い様」掃除や買い物、食事作りなど、これまでやってきたことをちょっと困っている誰かのために生かしてみませんか?申し込み・お問い合わせは下記までご連絡ください。皆様のご参加お待ちしております。

日時: 令和5年10月3日(火) 10:00~15:00
場所: いちボラ+(プラス)

一戸町西法寺字稲荷21-18(旧一戸幼稚園)
受講料: 無料
主催: 一戸町地域包括支援センター
申し込み・問い合わせ先: 一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385)



前回のボランティア養成講座の様子

チャイルドシート・車いすを無料貸出中

新生児から満1歳までの乳児、または帰省等により一時的な利用が必要な幼児を対象としたチャイルドシートの無料貸与を行っています。また、外出やケガなど一時的に車いすが必要となった場合で車いすの貸与も行っていきます。町内在住であればどなたでも申請可能です。

申請対象者: 一戸町内にお住まいの方
申請方法: 問い合わせ先へ電話後、窓口にて申請
問い合わせ先: 一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385)



令和6年度職員(保育士)を募集しています

①保育士/採用予定者数: 1名
募集資格: 専門学校、短期大学、大学のいずれかを卒業した者。(令和6年3月卒業見込みを含む。)保育士及び幼稚園教諭免許を有する者または受験資格を有する者。
給与: 161,900円~(各加算有)
採用予定日: 令和6年4月1日
募集期間: 令和5年9月1日~令和5年10月中旬まで
提出書類・問い合わせ先: 当会ホームページ又はお電話にてお問い合わせください。
(一戸町社会福祉協議会 TEL 0195-33-3385)

各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	いちぽら+ (プラス)	ふれあい相談
開催日	11月14日(火) 11月28日(火)	11月21日(火)	月・水・金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)
	12月12日(火) 12月26日(火)	12月19日(火)		
	令和6年1月9日(火) 1月23日(火)	令和6年 1月16日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	10:00～16:00	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 0195-23-5800 ※要予約		一戸町西法寺字稲荷21-18 (旧一戸幼稚園内) TEL 0195-33-3385	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 0195-33-3385

寄付御礼

(令和5年7月～令和5年8月取扱分)

社会福祉協議会への寄付

◆鳥越活性化推進協議会 金 12,795円 也

頂きましたご寄付は、地域福祉事業の推進のため
使用させて頂きます。ありがとうございました。

災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

その他、各種国外義援金、救援金についても受付しております。一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385) までお問い合わせください。

令和5年7月大雨災害義援金

(受付期間：令和6年3月29日まで)

秋田県支部：令和5年10月31日(火)まで

石川県支部：令和6年1月31日(水)まで

福岡県支部：令和6年3月29日(金)まで

佐賀県支部：令和6年3月29日(金)まで

読者プレゼント

本誌への感想や当協議会への意見など、アンケートに答えていただいた方の中から抽選で3名の方に一戸町の特産品(1,000円相当)をプレゼントします。

応募を希望される方は、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤本誌への感想や当協議会に対する意見などを明記の上、はがきまたはメールにて編集係までお送りください。発表は、発送をもって替えさせていただきます。

応募方法

▶ はがき

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2

一戸町社会福祉協議会「広報ゆいっこ編集係」

▶ メール

ichinohe-shakyo@themis.ocn.ne.jp



編集後記

今年の夏は例年のない猛暑が続き、冷たい飲み物が手放せない日々を過ごしていました。いろんな方と顔を合わせるたびに、「今日も暑いですね」から始まっていた会話も「だんだんに涼しくなってきましたね」と聞こえてくるようになりました。会話の中からも秋の訪れが感じられます。次回発行は11月となりますが、その時にはもう冬が近づいてきているのでしょうか…。移り変わる季節と合わせてゆいっこも楽しんで頂けると嬉しいです。
(高橋)

社会福祉法人

一戸町社会福祉協議会

〒028-5312

一戸町一戸字砂森93-2

(一戸町総合保健福祉センター内)

TEL 0195-33-3385

FAX 0195-33-2737

ホームページ

<https://ichinohe-shakyo.jp/>

